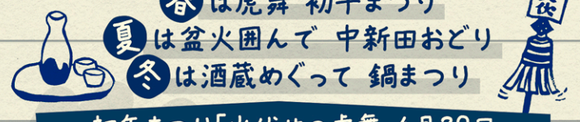
なかにいだ 中新田 なじょなどごだかまがってみらいん♪

商店街 おかみさんのとっておき情報 Vol.1

おかみさんが紹介する中新田の風物詩

春は虎舞 初午まつり
夏は盆火囲んで 中新田おどり
冬は酒蔵めぐって 鍋まつり



初午まつり「火伏せの虎舞」4月29日

桜が散り始めるとなんだかそわそわ…。
初午には何をごっつおうすっかな？お赤飯、魚屋さんのお造り
お肉屋さんのオードブル、手作りのお煮しめ、山菜の天ぷら、
お漬物。なじみの店におもてなし料理を助けてもらいます。
初午まつりには嬉しいサプライズが！遠方に引っ越したお客様、
アルバイトしていた学生さんが何十年ぶりにひょっこり現れて
昔話に花が咲きます。店先にも家の奥にもお客様がいっぱい！
とらっこ達へのご祝儀準備も忘れずに。
消防団からいただくお札には火伏せの願いが
こめられています。

宵一緒まつり・盆火　8月12日

お盆が近づくと、帰省する家族のために布団干し。
尾花沢の大きなスイカを買って、農家からいただいた胡瓜は
浅漬けに、とうもろこしは皮をむいて大鍋で茹でて準備♪商人
のまち中新田では、8月12日の夜にお墓参りをするんです。
外灯や提灯に照らされたお寺はとても明るくて、多くの人で
賑わいます。商店街の石畳には、ご先祖様をお迎
えする盆火。
火を囲んで踊る中新田おどりは、踊り手と眺めるお
客様が笑顔を交わすとっておきのひとときだっちゃ。

うめぇがすと鍋まつり　2月11日

大雪だろうが、路面凍結だろうが、この日ばかりは石畳の上に温かい湯気が立ちのぼります。前日までに商店街旦那衆は雪かきで大活躍。おかみさんはワイワイガヤガヤ楽しく野菜を切って下ごしらえです。
当日は、酒蔵見学できるとあって、早朝からたくさんの人が集まります。私たちは店の仕事をしながら、それぞれの商店会やグループごとに自慢の大鍋づくり。
店の奥のトイレもどうぞ、中新田は寒いけれどたくさん食べてあったまってけらいん♪

このマップは、商店街のおかみさんや旦那さん、にぎわいサポーター、委員など約30名が「私のとっておき☆」をカードに書くことからスタート。中新田への思いを話し合いながら制作しました。挿絵は委員手作りの消しゴムハンコです。

中新田を知らないあなた
中新田を懐かしく思うあなた
いつでもどうぞ。
通り過ぎるだけでも、道を尋ねるだけでも
ちょっくらまがってみてけらいん。

「なじょなどごだか
まがってみらいん」
とは
「どんなところなのか、
のぞいてごらん」
という意味の中新田弁です。

にぎわい寅子

なかにいだ元気の素！

酒蔵の町

仲間が集まれば地酒で乾杯♪
商店街には3つの酒蔵があり、地元の人にはご最厦の酒があります。普段は蔵の一般公開はしていませんが、お好みに合わせてアドバイスしてくれる酒屋がありますよ！

【酒蔵】09田中酒造店　14山和酒造店　28中勇酒造店
【酒屋】01蘇武ストア　03一馬屋　04岡本酒店
11小金屋酒店　13もりか　24まるしん
31中勇分店

伝統の味は、ここに

地元のおかみさんは、季節の行事に欠かせない食材はこちらで揃えています。お正月・節分・お彼岸・田植え初午祭・お盆・お月見・稲刈り・法事・年越しなど。
今も昔と変わらないふるさとの料理を味わってください。

【豆腐】08中村豆腐店　17中善商店　32宮川とうふ店
【 肉 】02いさみや精肉店　06肉のナリサワ
10関精肉畜産　23中島精肉店
【 魚 】16川名魚店　29西村魚店

わんこストリート

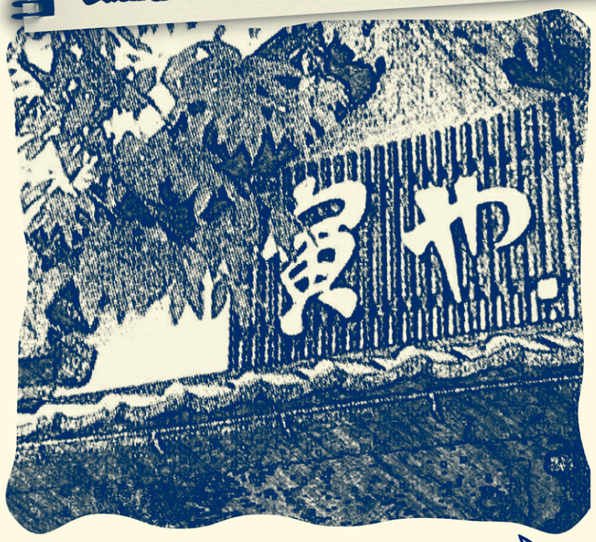
中新田を歩いていると犬の散歩によく出会います。
「石畳にわんこ」ちょっと絵になりますよね。
鳴瀬川の堤防やあゆの里公園は絶好のお散歩コース。
昔から愛犬家が多く、中新田柴犬倶楽部や世界のワンワンショーも開催され大人気でした。
石畳をかわいいわんこと一緒に、お散歩してみてはいかが？

【発　行】加美商工会
平成29年度小規模事業者地域力活用新事業全国展開支援事業
【制　作】中新田地区商店街にぎわいづくり委員会
【協　力】商店街のおかみさん旦那さん&町内のみなさん
【監　修】まちとひと 感動のデザイン研究所 藤田とし子
【発行日】平成30年2月

月花想詩

～花楽小路ストーリー～

月の明かりの下で
片隅に咲く花の想いを
一篇のストーリーにのせて
遥かなる未来へ繋いでいく



【制服】

今日から弥生月といっても、吐く息は白く、手袋の中で指先は悴んでいる。

この街の春はまだまだ遠い先のこと･･･。

窓に貼られた墨書き文字をぼんやりながめながら、ゆうべの宴の片づけをするために、「寅や」の鍵をあけた。「寅や」は、石畳の商店街にある手作りの「ランドマーク」その古い木造の日本家屋は、そろばん教室になったり、宴会場になったり、町のみんなに愛される多目的空間。流し台の脇には、昨夜の戦果と思われる空瓶空缶の山。このボランティアの山崩しが楽しく思えるようになったのはいつからだろう。両手に重いビニール袋を持ち外に出ると、小雪混じりの冷たい風が頬をなでた。

今日は晴れていてほしい、せめて卒業式が終わるまでは。そんな願いをこめて見上げた夜明け間近の白い空に、頼りなさそうな三日月が浮かんでいた。その形が、これから社会に出て行く子ども達みたいで、思わず「頑張って」って叫びそうになった。

今日のために、近所の中学生が窓ふきをしてくれた。もうすぐ、いつもの笑顔で高校生が「寅や」の前を通りすぎていくことだろう。澄んだ窓に輝く「卒業おめでとう」の言葉に、胸を張って･･･。

寅子のつぶやき

花楽小路のちょうど真ん中あたりには「寅や」というコミュニティスペースがあって、初午まつりには屋根に上がった虎舞いが見られるよ。たくさんの見物客でにぎわうの。

【HANABI】

「昼の暑さが嘘のようね」

花子はそう言いながら西の空を見上げた。

少し大人びた有松絞りの浴衣は、夏前に母が馴染みの呉服店であつらえてくれたものだった。

毎年お盆の8月14日は、鳴瀬川河川敷で花火が打ち上げられる。今年は幼なじみの信ちゃんに誘われて商店街中央の銀行前広場に設置された特設ベンチから花火を眺めていたのだった。

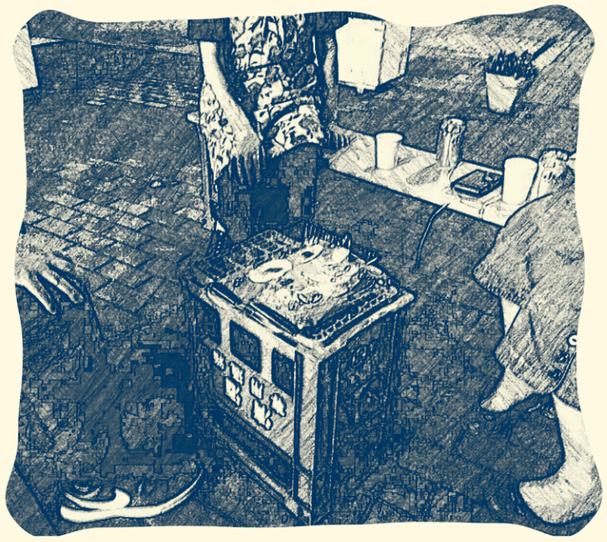
夜の花楽小路は車の通りもわずかになり、空も道も広く感じられる。ゆっくりと間を開けながら、ドン!と響く花火の音に少しずつベンチに人が集まってきた。

よく冷えた吟醸酒とお手製の漬け物を、ご近所のおかみさんが振る舞ってくれた。中新田の地酒がこんなに美味しいと感じたのは初めてだ。

「帰ってきて良かったな。このままずっと夏が終わらなければいいのに･･･」

そんな花子の呟きが聞こえたのか、雲の切れ間から恥ずかしそうに半月が顔を覗かせた。

打ち上げ花火の陰に隠れながら、静かにその時を待っていた下弦の月。その柔らかな微笑みは、遠い日の懐かしい線香花火のように、花子の心に希望という明かりを灯してくれた。



寅子のつぶやき

毎年 8 月 14 日には鳴瀬川で花火大会が開催されて、お盆の帰省客で会場はにぎやか！商店街でもベンチを出して花火を楽しんでいるの。仲間が増えたらもっと楽しいだろうなあ～

【真昼の月】

「昼の空に浮かぶ月ってみたことがある？」

「えっ、昼間の月？」

「そう青空にお月様。なんかね夜の月と違うんだよ」

「どんなふうに？」

「どんなっていうか、夜の月とは別人みたいな感じかな」

「月に別人って、おかしくない？」

「ハハハ、確かにそうだね。でも別人なんだよ」

「へぇ～、どこで見たの？」

「今日ね、花楽小路で!」

「花楽小路？」

「そう!石畳の商店街!電線もなくて、空がどこまでも青く感じるんだ」

「それなら、今度二人で散歩しようか？」

「うん、お団子食べにいこうよ」

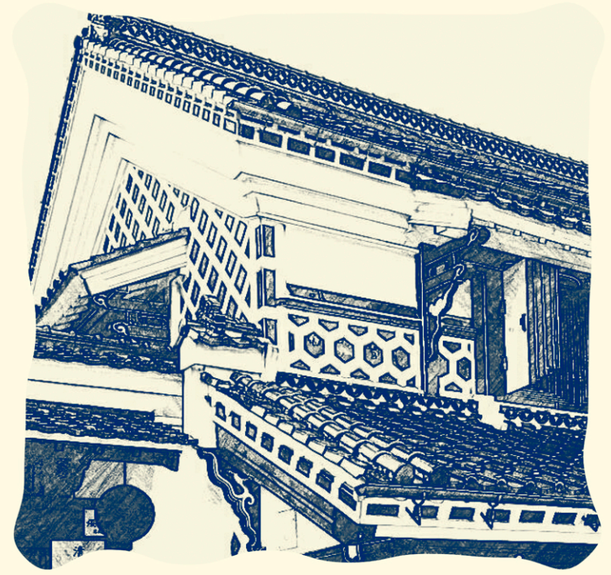
「昼にお月見団子なんて、洒落てるな」

高く広がる秋空に浮かび、静かに夕暮れを待つ白い月。

枯れ葉が風に舞う石畳を歩きながら、ふと一葉の物語を思い出した。

寅子のつぶやき

花楽小路の通りには電柱がないから空が広いんだ～夜は車もあまり通らなくなるから、真ん中に立ってみると石畳ならではの光の景色が見られるの。濡れた石畳の時はとっておきかもよ～！



【フライ・ミー・トゥー・ザ・ムーン】

めっきり寒くなって温かいものが恋しくなる季節。

コトコトといっているおでん鍋に心が躍る。

「今夜は私もお相伴しちゃおうかな」

酒造りが盛んなこの街に暮らし始めて半年。外は雪景色。

緑色したこの一升瓶のことは夫婦共に全く知らなかった。石畳の商店街の中にある立派なナマコ壁の酒蔵。

その蔵で仕込まれて、地元ではシルバーの愛称で親しまれている熱燗好適酒を、花楽小路の酒屋さんで薦められた。おでんに美味しい日本酒。

この街に引っ越してきて良かったと思える夜。

暖房と電熱器のせいで熱しすぎた部屋の空気を入れ換えるために、窓を開けた。

ふと目に映ったのは、不完全に丸みを帯び始めた銀色の月。その月の形は、まだまだ一人前の夫婦になりきれない私達のようだ。

浴室では夫が気持ちよさげに歌ってる。その調子外れの歌声が愛しくて思わず笑みがこぼれた。

「上弦の月だっけ、久しぶりだね、月見るなんて」

寅子のつぶやき

お米とお水に恵まれた中新田は江戸時代から酒造りが盛んで今でも３つの蔵元が商店街にあるのです。これってすごくないですか～♪人が集まれば地酒！の出番で（笑）

編集後記

中新田のとっておきマップ

「マップ」に求められるものの一番は、情報ツールとしての「利便性」だとするならば、今回の私たちのマップは及第点をもらえないかもしれません。けれど、私たちが最も伝えたい「中新田」という街の「とっておき」が、このマップにはたくさん描かれています。

一番描き伝えたかったのは、この街の「心の地図」このマップを通して「中新田」が、一人でも多くの人々の心に寄り添うことが出来たら幸せです。

「とっておき」の「おもてなし」と「感謝」の心をこめて。